

# きずな

KIZUNA

人権クエスチョンvol.18

## その「違い」、 壁にする？扉にする？

考えてみよう

「基本的人権」の認知度は85%超\*。しかしネットでの攻撃や、障害者、子ども、外国人など、人権問題は日常に潜んでいます。高い認知度を「思いやり」に変えるには？身近なことから考えてみましょう。

※出典：人権擁護に関する世論調査（令和4年8月）

01 誰もが同じスタートラインに立てる社会へ ..... 2 小林 祐梨子さん(ひょうご人権大使・元陸上選手)	02 ゲノム情報に基づく不当な差別 ..... 8 木矢 幸孝さん(東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター公共政策研究分野 助教)
02 生きづらさに寄り添う ～神戸いのちの電話の活動～ ..... 3 井出 浩さん(社会福祉法人 神戸いのちの電話 理事長)	HYOGOヒューマンライツ 作品コンテスト受賞作品紹介 ..... 9
03 戦後80年を迎えた世界 —アウシュヴィッツ ..... 4・5 中谷 剛さん(ポーランド国立アウシュヴィッツ博物館公認ガイド・翻訳者)	【連載】「国際社会と人権(18) 人権の話は何のため？」 ..... 10 望月 康恵さん(関西学院大学法学部 教授)
04 会いたいのは愛だから ..... 6 大島 花子さん(シンガーソングライター)	ふれあいサロン ..... 11 情報ぷらざ ..... 12
05 大切な人に思いを伝えよう 石川 達之さん(心の元気講演家・オフィスうたことば 代表) ..... 7	





01

## 誰もが 同じスタートラインに立てる社会へ

ひょうご人権大使  
元陸上選手

こばやし ゆりこ  
小林 祐梨子さん

1988年、兵庫県小野市生まれ。須磨学園高等学校、岡山大学を卒業後、2007年4月豊田自動織機入社・女子陸上部へ入部。2008年8月、北京オリンピック5000mに出場、2009年世界選手権5000mに出場。2015年1月に陸上競技選手を現役引退。現在は駅伝解説やゲストラナー、講演会等で活躍。



Q 「ひょうご人権大使」の3期目を迎えられたお気持ちを教えてください。

A 3期目となるひょうご人権大使を務めさせていただき、改めて人権を考えることの大切さを実感しています。様々な人権活動を通じ、多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる社会は一人ひとりの意識から生まれると学びました。今後も県民の皆さまと共に、人権の輪を広げていきたいです。

Q 令和7年度にひょうご人権大使として参加されたイベントで特に心に残っていることを教えてください。

A ひょうご・ヒューマンフェスティバルでは、B型事業所の出店や体験イベントを通して、多様な個性や能力が社会の中で自然に発揮されている姿に心を打たれました。支える側・支えられる側という一方的な関係ではなく、互いに認め合い、共に楽しむ空間が広がっており、誰もが自分らしく参加できる社会の大切さを知りました。

Q 今年、“グッ!!”ときた仕事でのお話を教えてください。

A 今年大きな盛り上がりを見せた自国開催の世界陸上では、難民選手団の出場やパラアスリートの活躍など、国や性別、立場の違いを超えて大会が一体となる光景がありました。誰が一番かよりも、転倒した選手をゴール後に支えるライバルの姿や、勝者を称え合う姿が強く心に残ります。競技の結果以前に、一人ひとりの尊厳が守られ、認め合う

空間が生まれたことこそ、この大会が示した人権の価値だと感じます。

Q 日本初の女性首相が誕生しましたが、女性の活躍についてどのように考えておられますか。

A 陸上界では、日本陸上競技連盟会長の有森裕子さん、日本パラ陸上競技連盟会長の増田明美さんが、現場経験と当事者性をもって組織を率いておられます。意思決定の場に多様な視点が実際に反映されており、どの分野でも広がって欲しい思いです。それ自体がゴールではなく、社会全体がここから変わっていくきっかけになって欲しいと感じます。

Q 最後に読者に向けてメッセージをお願いします。

A 人権は特別な人のためのものではなく、私たち一人ひとりの日常に関わる大切な価値です。違いがあることは弱さではなく、社会の豊かさにつながります。スポーツの現場で見た、互いを尊重し合う姿勢は、立場や意見が異なる私たちの暮らしにも通じるものです。相手の声に耳を傾け、自分と同じように相手の尊厳を大切にする。その積み重ねが、誰もが生きやすい社会をつくと信じています。



「ひょうご・ヒューマンフェスティバル2025inあまがさき」での開会宣言

話してくれたのはこの方!



## 生きづらさに寄り添う ～神戸いのちの電話の活動～

社会福祉法人  
神戸いのちの電話  
理事長

いで ひろし  
井出 浩さん

1982年神戸大学大学院医学研究科修了。医学博士。神戸大学医学部精神神経科助手、神戸市こども家庭センター医師、関西学院大学人間福祉学部教授を経て、現在は浅野神経内科クリニック医師。神戸いのちの電話には2000年から研修委員、2006年から評議員、2017年から理事を歴任後、2025年6月理事長。

### いのちの電話とは

「いのちの電話」は、第二次世界大戦後のイギリスでチャド・ヴァラー牧師が自殺予防のために始めたサマリタンズ運動から始まりました。日本では、ドイツ人宣教師ルツ・ヘットカンプ女史を中心に、1971年1月に東京いのちの電話が開設されたのが最初で、神戸は1981年に開設され、2002年に社会福祉法人となって現在まで活動を続けています。今、全国で50局が活動をしています。

### いのちの電話の考え方

いのちの電話の基本は、匿名性と守秘義務、傾聴と共感です。

私たちは悩みを打ち明けたいと思うとき、一方でためらいも感じるものです。悩みの内容を恥ずかしいことと思うこともあります。そうした時に匿名で話せる場であることに意味があります。語った人、語った内容の秘密が守られることの大切さは言うまでも無いでしょう。

ヴァラー牧師は一人の自死した少女の葬儀を行ったことから、悩み、苦しむ人に相談できる場、話せる場があることの大切さを感じ、その実践を通して、聴くことの意義を実感されたようです。牧師が始めたSAMARITANS(サマリタンズ)のHPには、「私たちはあなたを批判することも、どのようにしなさいと指示することもしません」と基本的な考えが書かれています。その流れを汲むいのちの電話も、傾聴することを大切にします。電話をかけてこられた方のお話に耳を傾け、そのつらい気持ちに寄り添います。どうすれば良いかといった解決策を伝えることはありません。相談員はボランティアです。困った時に良い解決方法を教えてくれる専門家ではなく、ただ耳を傾けてお話を聴く人として、電話を取ります。

つらい気持ちに寄り添い、語る言葉に耳を傾ける人が電話の向こうにいる、そう感じてもらえることが、その人の孤独感を和らげ、死を選ぶ思いから遠ざける事に役立つと考えています。

### 寄り添うことをめざして

令和6年の一年間で、全国のいのちの電話では576,507件、神戸いのちの電話では14,334件の電話を受信しました。この数字の多寡を論じることはできませんが、電話がなかなかつながらないという苦情を聞くこともよくあります。孤独を感じ、生きづらさを感じた時にいつでも電話をかけていただけるよう、活動の充実を目指しています。

### information

神戸いのちの電話 電話相談  
☎078-371-4343



- ・不安や孤独の中にいる方、抱えきれない悩みがある方、お電話をください。
- ・名前を言う必要はありません。秘密は守られます。
- ・相談員は、研修を修了した認定者です。

神戸いのちの電話  
ホームページ

参考URL:

『日本いのちの電話連盟』  
<https://www.inochinodenwa.org/>  
『埼玉いのちの電話 サマリタンズライブラリー』  
[https://saitama-id.or.jp/samaritans\\_library](https://saitama-id.or.jp/samaritans_library)  
『SAMARITANS』  
<https://www.samaritans.org/>





03

話してくれたのはこの方!



## 戦後80年を迎えた世界— アウシュヴィッツ

ポーランド国立  
アウシュヴィッツ博物館  
公認ガイド・翻訳者

なかたに たけし  
中谷 剛さん

1966年神戸市灘区に生まれる。京都産業大学経営学部を卒業後、パラマウントベッド(株)入社。1991年にポーランド共和国へ移住。国立アウシュヴィッツ博物館公認ガイド。翻訳者。著書に『ホロコーストを次世代に伝える』2007年岩波ブックレット、『アウシュヴィッツ博物館案内増補版』2012年凱風社など。

### アウシュヴィッツの悲劇

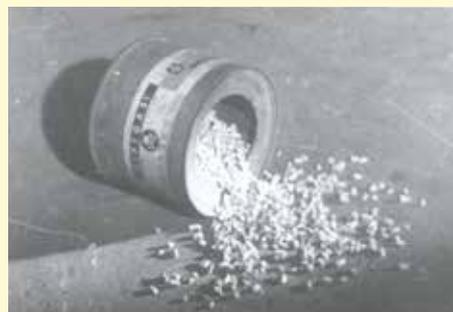
昨年、世界各地で第二次世界大戦の追悼式典が催されました。その皮切りはアウシュヴィッツでした。ソビエト赤軍が解放した1945年1月27日から80年が経過しました。国連はその日を「ホロコーストの犠牲者を想起する国際デー」と定めています。アウシュヴィッツ博物館は大規模な会場を設営して各国の要人を迎えました。そして数少なくなった生還者の証言が心に響きました。

「アウシュヴィッツへ送られたその日に私の母と叔母は殺されて焼却されました。私は髪を刈られ囚人服を与えられて、非人間的な生活が始まりました。家族と離れ離れになり孤独でとても辛かったです。煙突から出た黒い煙の匂いが鼻をつきました。このナチ・ドイツ収容所では人類史上で類のない残虐なことが起こりました。ところが今、ヨーロッパの国々や私の国でもナチの服装に似た格好で行進する人々がいます」と99歳のレオン・フイントロブさんは語り、若者に対して訴えました。「私は医学者です。肌の色は関係ありません。細胞はみな同じです。優れた人種などありません。ホモ・サピエンス、みな人間なのです」。



ガス室・焼却炉

1940年6月14日に728名のポーランド人政治犯が収容されて以来、ユダヤ人の大量虐殺に至るまで20世紀最大の悲劇がアウシュヴィッツで起きました。少なくとも90万人が到着後すぐにチクロンBという殺虫剤で殺されたのです。子どもや赤ちゃんを含む民間人でした。



チクロンB

一方、ドイツは科学や芸術がとても発達した国で尊敬されていました。ところが第一次世界大戦敗戦後、世界恐慌など経済不況が重なって市民の生活がとても苦しくなりました。政治家のアドルフ・ヒトラーは国民社会主義労働者(ナチ)党の代表として1933年に首相に就任すると「ドイツを復活する」と宣言しました。ドイツ軍を再軍備して軍需産業を発展させたり、アウトバーンという高速道路建設に労働者を充てて市民生活の向上に努めました。子どもをたくさん産んだ女性に勲章を与えて少子化対策を行いました。市民が余暇を過ごすためのリゾート地なども整備したのです。そして国際社会復帰の象徴になったベルリンオリンピックが1936年に開催されました。しかし、その恩恵を受けたのはアーリア条項に含まれるドイツ人だけでした。除外されたユダヤ人、ロマ・スラブ民族、障害者や同性愛者、エホバの証人の信者などが迫害の対象になりました。

「アウシュヴィッツは空から急に降ってきたわけではない」と生還者の一人、マリアン・トウルスキさんは述べています。反ユダヤ主義は遠い昔から今でも消えておらず、アウシュヴィッツの犠牲者はユダヤ人だけでなく、こ

れまで世界中で差別されてきた人々だったのです。社会に根付いた様々な偏見が過激な思想に結びつきました。

## ホロコースト教育

第二次世界大戦後、冷戦が始まるとドイツは東西に分割されて、ヒトラーなどナチの幹部に戦争責任を負わせる傾向が強くなりました。ベルリンの壁が崩壊し社会主義諸国が民主化した1990年代になって「アウシュヴィッツの再認識」の作業が始まったのです。そして「ホロコーストの記憶共有に向けた作業部会」が発足し、欧米各国の教育省の代表が毎年集まって協議を重ねながらホロコーストの歴史教育に力を入れるようになりました。21世紀になると高校2年生で学ぶ世界大戦の歴史の授業の一環で、アウシュヴィッツ博物館を訪れる学校が急増しました。

加害者ドイツや被害者ユダヤ人といった一辺倒の学び方ではありません。ナチ党に選挙で投票したドイツ人は少なからずいましたが、反対者も同じくいたのです。大衆迎合した民衆の心理、つまり傍観者が大きな鍵を握ったと考えるようになりました。ナチ・ドイツ占領下のヨーロッパ各地でもユダヤ人追放者がいたことを明らかにして、政治的な謝罪だけでなく学校でもそのことを教えるようになったのです。

高齢化や少子化で経済成長が見込めなくなったヨーロッパは、通貨をユーロに統合してEU加盟国を増やすなどアメリカやアジアの経済に対抗する政策を進めてきました。特にシェンゲン条約で国境を開放したことで、これまで以上に多様な民族が共生・共存することになりました。文化や習慣の違う人々が一緒に生活することは難しいことです。しかし、それを避けて通れない事情がヨーロッパにあります。そこで、そのための教育が必要だと考えたのです。



## アウシュヴィッツ博物館ガイド

私は1997年からアウシュヴィッツの歴史を日本人に伝えてきました。私がガイドに採用された理由は日本人にホロコーストをよく理解してもらうためです。日本は第二次世界大戦中にドイツやイタリアと同盟国だったとはいえ、ホロコーストの歴史に直接関わっていません。

一方、第二次世界大戦についてあまり教育で触れていないことに私は日本人の学生を案内していて気づきます。アウシュヴィッツ博物館の2025年の訪問者はヨーロッパを中心に過去最高を記録し、そのうち70%が14歳から26歳の若者です。広島平和記念資料館も外国人旅行者で混雑しているようです。日本の高校生は2022年から「歴史総合」という教科書を使って日本と世界の近現代史を学ぶようになったようですが、パレスチナの紛争やウクライナの戦争を理解するうえでも重要だと思います。

そして、日本は言論の自由に支えられた民主主義や法の支配、人権を尊重する国々と政治や経済の分野で協力しています。日本でも昨今、人権侵害の問題が日常生活のなかでクローズアップされています。ホロコーストの原因の一つは相手を同じ人間だと見なさない人権尊重の欠如だったと言われていました。

みなさんも一度アウシュヴィッツの歴史に触れて理解を深めてみませんか？



1997年にアウシュビッツ博物館の公式通訳の資格を取得し、ガイドとしての活動を始める



話してくれたのはこの方!



## 会いたい<sup>は</sup>愛だから

シンガーソングライター

おしま はなこ  
大島 花子さん

坂本九の長女。2003年メジャーデビュー。シングル「親父」ではUSEN1位を獲得。コンサート活動のほか、家族の絆や命の尊さをテーマにした講演会を行う。父に教えられた手話や「上を向いて歩こう」などの歌も盛り込んだ内容で全国から依頼が絶えない。2025年坂本九最後の曲「心の瞳」を通じ学生との合唱を通じた交流の活動も開始。

### 突然の別れから40年

「いってらっしゃい」と見送ったら「お帰りなさい」と迎える。この二つの言葉が「セット」となって使われるのは当たり前だと思っていました。しかし、11歳の夏休みにこの二つの言葉は時に対にならないことがあるという現実を知りました。2025年8月12日で父、坂本九<sup>\*1</sup>を日本航空123便墜落事故<sup>\*2</sup>によって失ってから40年を迎えました。

### 悲しみを抱きしめて歩む

「大切な人との突然の別れをどのように乗り越えましたか?」という問いをこれまで何度となくテレビや新聞のインタビューで投げかけられてきましたが30年ほど経った頃からだったでしょうか、「乗り越えていません」と答えるようになりました。いえ、答えられるようになったというのが本当なのかもしれません。幸せに、楽しく日々を暮らしていることも真実ですが、心のどこかに悲しみがありチクチクと急に現れる痛みが存在し続ける40年間でした。

悪気がないことは理解しながらも、初対面の方が事故があった日にどのように過ごしていたかを教えてください。瞬間、「九ちゃん残念だったわね」とお声がけいただくことに慣れてはいるもののその度にチクチクと痛みます。でも、この悲しみや痛みも自分の一部であることには変わりありません。無理に遠ざけようとせず、痛みも哀しみも抱きしめて共に歩めばいいのではないかなと思えるようになってから少し楽になったような気がします。大切な何かとの別れによって起こる心の痛みや悲しみをケアする『グリーンケア』に出会ったのもその頃でした。

まさに、自分自身で見出した「悲しみを抱きしめて歩む」という思いを肯定してもらったような出会いでした。

### 歌に乗せて伝えたい思い

東日本大震災直後から、事故と地震の違いはあるけれど、突然大切なものを失った方々のことは人ごとには思えず被災地へ足を運ぶようになりました。多くの方がお話しされていたのは「悲しんでいるわけにはいかないのです。泣いてないで前を向かなければ」という内容でした。悲しみの形は人の数だけあると言われていました。向き合い方もそれぞれです。涙を堪えることで悲しみを打ち消す方もいるでしょう。ですが、泣きたかったら泣いてもいいのではないかなと思うのです。なぜなら、悲しみの大きさは愛の大きさだと思うから。「会いたい<sup>は</sup>愛」なのではないでしょうか。事実、泣くこと、悔やむこと、思い出を辿ること、全ては回復のプロセスであると心理学の先生もおっしゃっていました。もし父と再び時間を過ごせる魔法があったら、特別なことではなくなんでも日常を共にしたいと願います。そして、それを思うと、今私の手の中にある日常は、命があることは、とんでもない程にかけがえのない瞬間なのだ改めて感じるので。命の尊さをこれからも歌に乗せて伝えていきたいと思えます。会いたい<sup>は</sup>愛だから!

※1 <sup>さかもと きゅう</sup>坂本九  
日本の歌手、俳優、タレント、司会者。本名、大島 九。愛称は九ちゃん。1959年6月に「題名のない唄だけど」でデビューして以来、「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」「明日があるさ」など数多くのヒット曲がある。また、映画や舞台の俳優、テレビ番組の司会など多岐に渡り活動していたが、日本航空123便墜落事故により43歳で死去。

※2 〈日本航空123便墜落事故〉  
1985年(昭和60年)8月12日に日本航空123便(ボーイング747SR-100)が群馬県多野郡上野村の御巣鷹の屋根に墜落した航空事故。死者520名という日本史上最悪の航空事故で、単独機の事故としても世界史上最悪の航空事故となっている。



話してくれたのはこの方!



## 大切な人に思いを伝えよう

心の元気講演家・  
オフィスうたことば 代表  
いしかわ たつゆき  
石川 達之さん

消防士として32年間勤務。家族のメンタル不調への対応経験や、交通事故・労働災害・自損行為など数多くの現場活動を通じて心の健康の重要性を痛感し、早期退職して講演活動を始める。小学生から高齢者まで幅広い世代に、「大切な人に思いを伝えよう」をテーマに、オリジナルソングの弾き語りを交えて届けている。

### 消防現場の活動体験で人生観が変わる

若手消防士の頃、ガソリン放火火災の原因調査中に、現場で横たわっていた地域の友人の変わり果てた姿を発見しました。友人は、悩み事を誰にも相談できず、一人で抱えていたということが調査過程でわかり、あんな明朗快活な男でさえ、精神状態の悪化であんなことになってしまうのだとショックを受けました。

消防士は、火災や災害との戦いだけでなく、自分自身の心に生まれる無力感とも向き合わなければなりません。「助けて当たり前」とされる救急・救助現場で、全力を尽くしても救えない命があります。悲嘆にくれる家族の姿が目には焼きつき、胸を締めつけられる経験も少なくありません。そんな現場から教わった人生の大切なことを、講演で伝えています。

### 「生まれてくれてありがとう」

二人の息子が幼かった頃から「生まれてくれてありがとう」と伝えるようになったのは、交通事故に遭った、私の二人の息子と同じくらいの年頃の兄弟と母親を搬送したことがきっかけでした。お兄ちゃんは意識がなく、弟はすでに亡くなっていました。涙をこらえながら搬送し、帰署後、救急車内で小さなオモチャを見つけた瞬間、号泣してうずくまってしまうました。その時から普段は兄弟喧嘩が多くて「うるさいなあ」と思うこともありましたが、二人が元気に生きてくれることが奇跡のような宝物に思えました。それから毎年伝え続けています。

### 言葉は凶器にも愛ある贈り物にもなる

救急隊が到着すると、自損行為で呼吸が停止した男

性にすぎあって、お母さんが泣いていました。事情を聞くと、うつ病で自宅療養していたところ、やって来た親戚に「お前がしっかり家族を養わなきゃいかんだろうが!」と一喝された直後に、自殺をはかると話してくれました。相手の心を考えないで発したひと言は、命を奪う凶器になるのだと教えてくれました。

また、交通事故で心肺停止した中学生の息子に、お父さんが呼びかけていた言葉に、胸打たれたことがあります。「おい、目を開けてくれ!お前は暑い日も毎日部活に頑張ってきたじゃないか。お前ならできる。息をしてくれ!」と必死に呼びかけていました。その言葉こそ、心の底から絞り出された愛情の言葉だと感じました。

毎日、多くの言葉を口にしていますが、せつかく言葉を発するなら、人を苦しめたり悲しませたりすることに使わないで、人を笑顔にしたり、元気にしたりすることに使っていきたいものです。

### 届いた声、届けたい思い

「恥ずかしかったけど『ありがとう』を伝えました」と書いた高校生。「いい歳なのに伝えた後に涙が出ました」とメールをくれた会社員。「自殺を考えたことがあるけど、今日の話を聞いて、何があっても生きてやろうと思いました」と書いてくれた男子中学生。あの苦しかった体験が、大切な人に思いを伝えるきっかけになっている。その幸せを感じながら、これからも話し、歌っていきます。



# ゲノム情報に基づく不当な差別

※ゲノム…DNA内にあるすべての遺伝情報のことを指す。

東京大学医科学研究所  
ヒトゲノム解析センター  
公共政策研究分野 助教

きや ゆきたか  
木矢 幸孝さん

兵庫県西宮市出身。博士(社会学)。専門は社会学。著書に『遺伝性の病いととも生きる一 球脊髄性筋萎縮症患者と保因者の経験』(ナカニシヤ出版 2026年刊行予定)がある。  
<東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター公共政策研究分野>医学・医療に関わる政策やガバナンスの比較研究、病気や障害を持ちながら生きる人々への／からの／による影響に関する分析を行っています。



## ゲノム医療推進法に おける人権上の課題

2023年6月、「良質かつ適切なゲノム医療を国民が安心して受けられるようにするための施策の総合的かつ計画的な推進に関する法律」(ゲノム医療推進法)が施行されました。この法律は、個人の権利や利益を尊重しつつ、ゲノム医療を推進することを掲げています。ゲノム医療とは、個人のゲノム情報をもとに、その人の体質や病状に応じた医療を行うことを指します。

しかし同時に、ゲノム医療推進法では、「ゲノム情報に基づく不当な差別等」への対応が求められていることも明記されています。実際、2025年4月には、法務省の令和7年度啓発活動強調事項に「ゲノム情報(遺伝情報)に関する偏見や差別をなくそう」が新たに加えられました。ゲノム医療は、私たちの暮らしや将来に影響しうるものであり、十分な知識や理解が共有されないまま利活用が進むと、人権上の問題が生じるおそれがあります。

## ゲノム情報に基づく 不当な差別とは

ゲノム情報に基づく不当な差別については、個人のゲノム情報や、その利用が社会のさまざまな場面に広がる中で、不利益な取扱いがなされることが問題とされています。ゲノム情報の一部は、生涯にわたって変えることができず、本人だけでなく家族(血縁者)にもかかわる情報です。また、プライバシーの観点からも慎重な対応が求められます。

ゲノム情報に基づく不当な差別が想定される場面としては、民間保険における加入や支払い、雇用における採用や配置転換、結婚や出産をめぐる家族関係、教育や医療の現場など、私たちの生活に身近な領域が含まれます。こうした場面において、ゲノム情報を理由に差別的な取扱

いを受けたりすることは、個人の人権や尊厳を損なう可能性があります。もっとも、ゲノム情報に基づく不当な差別は、分かりやすい形で現れるとは限りません。保険加入や採用・配置転換等の判断過程が本人に十分に説明されない場合、それがゲノム情報によるものかどうかは判断が難しくなります。

### 不当な差別等が生じる場面(例)



保険

- ・加入
- ・支払い



雇用・労働

- ・採用
- ・配置転換



結婚・出産

- ・選択肢の制限

※ゲノム情報に基づく不当な差別等が生じる場面の一部を例示したものです。

## 不当な差別の 解消に向けて

ゲノム情報に基づく不当な差別を受けたと感じた場合には、場面に応じて、法務省の人権相談窓口や、都道府県労働局の総合労働相談コーナーなどへの相談を考えてほしいと思います。受ける必要のない不当な差別は、見過ごされない社会であることが大切です。

他方で、ゲノム情報が本人の理解と納得のもとで利活用され、健康を守ることにつながるのであれば、その意義は大きいといえます。不当な差別を解消しつつ、個人の権利や利益が尊重されるかたちで、安心してゲノム情報を利活用できる環境を社会全体で整えていくことが重要です。

※本稿は厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業(倫理的・法社会的課題研究事業)JPMH25AD1001 による支援を受けて実施した研究の成果を含みます。

# HYOGOヒューマンライツ作品コンテスト

## 受賞作品紹介

### 文芸部門 詩分野 最優秀賞

〈タイトル〉 幸せなとき 〈作者〉 蔭谷 千春

季節は巡り気もそぞろな春  
学校から急いで帰って来て  
新しいクラスの顔ぶれを  
息を切らしながら  
一生懸命教えてくれる  
あなたの愛らしい声を聞いたとき

夏場のやりきれない暑い夜  
遅くから手をつけた宿題に  
追われて  
壁に掛かった時計の針を  
何度も確かめながら  
鉛筆を走らせる  
あなたの困った顔を見たとき

秋の兆しを感じる  
休日の肌寒い朝  
二度寝をしようと  
私の布団の中に  
潜り込んで来た  
あなたの柔らかい寝癖の髪が  
私の頬に触れたとき

寒がりのあなたが嫌いな冬  
細い指の小さなあかぎれが  
痛々しかったから  
せめてあなたの  
好きな香りのハンドクリームを  
塗ってあげたくて  
そっと指で伸ばすと  
ほのかな桃が香ったとき

何気ない日常の  
ふとした瞬間に  
あなたの存在を愛おしく思う  
すぐそばに  
あなたが居てくれる  
それだけで今日も  
私は幸せです



### HYOGOヒューマンライツ作品コンテスト作品集講評より

「あなたが居てくれる／それだけで今日も／私は幸せです」という最終連にあるとおり、生命や人権の尊さの原点とでもいうべき親子の愛情を、母親の立場から素直な言葉で、繊細に表現しているところにひかれます。例えば、第四連の、あかぎれにハンドクリームを塗ってあげるシーンなどが印象的です。人権といい人の優しさといい、その原点は「何気ない日常の／ふとした瞬間に」現れる小さな気づきや思いなのだということを教えてください。

詩人 HYOGOヒューマンライツ作品コンテスト文芸部門審査委員 ときさと じろう 時里 二郎

### HYOGOヒューマンライツ作品コンテスト入賞作品の転載等について

当コンテストでの入賞作品(文芸作品・動画作品・イラスト作品)を掲載したり、活用したりする場合は、当協会HPから「人権啓発資料の複製(転載)承認についての申請書」をダウンロードしていただきご提出をお願いします。過去の作品に関してもご利用可能です。





# 国際社会と人権

Vol.18

現在、理解がますます求められる「人権」について、国際機構論を専門とする望月先生と考えてみましょう。

今回のテーマ

## 人権の話は 何のため？

関西学院大学法学部 教授 もちづき やすえ  
**望月 康恵さん**

関西学院大学法学部教授、元人権教育研究室室長。専門は国際法・国際機構論。著書に『新国際人権入門—SDGs時代における展開』（共著）、『移行期正義—国際社会における正義の追及』（単著）など。



コラムを通じて、国際社会と人権について考えてきました。あらためて、国際社会における人権への取り組みの意義について振り返りたいと思います。

国際社会で行われている人権の議論から、私たちはさまざまなことを理解してきました。まず、**人権の課題は世界共通である**ということです。たとえば、ジェンダー平等の実現に向けて、日本をはじめ多くの国で取り組みがなされています。積極的でない社会もありますが、少なくとも、社会で構築されてきた性差によって、人や社会に不都合が生じてきた、という理解は共有されるようになったと言えるでしょう。また死刑は、各国で設立された制度ですが、「誰もが生まれながらに持っている、固有の権利」を、人為的な機能を持つ国家がはく奪することは是非という観点から論じられています。このように、世界の状況から、私たちは人権の普遍性について理解してきました。

次に**世界のあらゆる出来事が、人権に関わっている**ことを学んできました。争いが起これば、私たちは被害を受けた人々を心配します。彼ら彼女らが安全に暮らせるのか、高齢者は生活できるのか、女性が過度な負担を強いられないか、子どもは教育を受けられるのか、少数者が多数者と同じように保護されているのか案じます。

つまり**私たちは、人権を基準にして世界の出来事を見ている**のです。

また、**人権の議論は時代とともに変化し続けている**ことも理解しました。猛暑や山火事、熊による被害など、気候変動によると考えられる環境の変化は、私たちの日常生活や人生に深刻な影響を及ぼしています。このような状況に私たちはどのように対応できるのかを考えます。さらに一歩進んで、**現代の若者や将来の世代にとって、社会はどうあるべきかなど、より長期的な視点で議論するようになって**います。

くわえて、国際社会での人権の議論は、人権を実現するために私たちが主体的に取り組むことの重要性を示し、機会を与えています。持続可能な開発目標(SDGs)は「誰一人取り残さない」ことをめざし、一人ひとりがその達成に向けて実践するための具体的な指針となっています。このように、**国際社会の取り組みは人権を「自分ごと」として考え、実際に関わっていくことを促します**。

**誰にとっても不都合や不快の少ない社会づくり、互いに違いがあっても尊重し合える社会づくりこそが、人権を守り進めていくことにつながります**。そのような社会をめざして、これからも人権について理解を深め、日々実践していきましょう。

知ってる？

きずなの  
**きっかけ**

人権啓発映画

## “そして彼女たちは”

母子支援施設で暮らす5人の少女が、見つけ出していく小さな希望

**あらすじ** 予期せぬ妊娠をした未成年者のための支援施設を舞台に、若くして母親となった少女たちが共同生活を経て新しい人生に踏み出していくまでを描いた群像劇です。彼女らはたいてい貧しく、養護施設出身だったり、虐待されていたり、アルコールや薬物などの問題を抱えています。そのうえ「母」になりきるのには容易なことではなく、「抱っこしたいと思っていたのに、何も感じない」と戸惑います。苦しさを分かち合うべき父親はめったに姿を見せないか、不在のケースがほとんどです。少女たちが赤ちゃんをあつかう危なっかしい手つきを見ていると、

ままならない人と人の関係を見るようで心細い気がします。それでも懸命にたぐった細い糸が誰かの心に通じる一瞬がある。その積み重ねが、不確かで心許ない共同体をつなぎとめるきずなとなるのではないのでしょうか。

監督、脚本/ジャン=ピエール・ダルデンヌ、リュック・ダルデンヌ  
出演/パベット・ヴェルベーク、エルザ・ウーベン 2025年製作/  
ベルギー・フランス合作/104分



©Les Films du Fleuve - Archipel 35 - The Reunion - France 2 Cinéma - Be Tv & Orange - Proximus - RTBF (Télévision belge) / Photo©Christine Plenus

3月27日(金)から  
シネリーブル神戸で公開

# ふれあい サロン

とても便利な

投稿&クロスワードで  
オリジナルA5クリアフォルダを  
プレゼント!

## 問 アルファベットを順番に並べると、何という言葉になるでしょう?

1 D	2		3		4	5 A
6	C		7		L	
		8		G		
9	10	B		11 H		12
			13 E			
14	J				15 F	
16 I			17			K

### たてのカギ

- ① 特定の飼い主はいないが住宅街などに住む猫
- ② お好み焼きをひっくり返すのに使います
- ③ 海ではないところ
- ④ お絵描きに使う棒状の画材。「\_\_\_しんちゃん」というアニメも
- ⑤ 尺の10分の1にあたる昔の長さの単位
- ⑧ 部屋の間を仕切ります。「年収の\_\_\_」
- ⑩ 乗り物に乗るためにかかるお金
- ⑪ 尾が東を向いているときの犬の向き
- ⑫ 2026年の冬季オリンピック開催国
- ⑬ 身に付けるもの全般
- ⑭ 幹がない植物。\_\_\_野球 \_\_\_団子
- ⑮ \_\_\_自慢大会では歌声を競います



### よこのカギ

- ① 木などを切るのに使うギザギザのついた工具
- ④ 兵庫の県木にもなっている広葉樹
- ⑥ 「カフェ\_\_\_」はエスプレッソにミルクを混ぜて作ります
- ⑦ 災害に備えて避難\_\_\_を行います
- ⑧ 「負け」の反対
- ⑨ ハーバーランドや異人館のある兵庫県\_\_\_の県庁所在地
- ⑪ 自由に選ぶことができます
- ⑫ チョキははさみ、パーは紙、では\_\_\_は?
- ⑭ 口紅やリップクリームを塗る場所
- ⑮ 紙などをくつつけるのに使います
- ⑯ 2と4の間にあります
- ⑰ 室内・屋内を意味する用語

1・2月号の答え

ソチョウシヨウイブンカ

## 読者からのお便り 1・2月号を読んで

私も31年前、阪神・淡路大震災で被災した一人として近所の人と「こんな時だから」と助け合った記憶があります。防災活動に携わっている今、孤立する人を作らず、人と人の繋がり、助け合いの精神が大切だと改めて強く思います。  
(神戸市 丸山さん)

震源地に近い淡路島で暮らす身として、米津さんの深い喪失と再生の物語は他人事とは思えませんでした。「亡くなった子と共にできることを探す」という決意に、今ある命を精一杯生き、次の世代へ繋いでいく責任を強く感じました。  
(南あわじ市 プティさん)

「読者からのお便り」の投稿掲載者(令和8年5・6月号)とクロスワードの正解者(抽選で10名)とに、「オリジナルA5クリアフォルダ」をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見やご感想、人々とのふれあいを通じた心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

※投稿掲載時はペンネームの使用も可能です。

#### 応募方法

はがき、FAX、Eメール、HPの「きずな投稿」で受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用の場合も要併記)、電話番号、年齢、職業、本誌へのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。

締め切り 令和8年4月15日(水)必着

#### 応募先

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目22番15号 県立のじぎく会館内(公財)兵庫県人権啓発協会 「きずな」ふれあいサロン係  
TEL:078(242)5355/FAX:078(242)5360  
Eメール:info@hyogo-jinken.or.jp

\*応募者および投稿者の個人情報は管理を適切に行い、誌面づくり以外の目的には利用いたしません。



### 兵庫県立のじぎく会館ご利用案内



のじぎく会館は、県民の皆さまの研修や講習、会議などに利用していただけます。無線LAN(wi-fi)も利用できますので、ぜひ、ご利用ください。

#### 利用ご案内

- 利用時間：平日、土日の9時から17時まで(午前のみ、午後のみ可)
- 休館日：国民の祝日(振替休日を含む)、年末年始(12月29日～1月3日)  
(その他改修・清掃等で使用できない日があります)

#### 施設ご案内 \*括弧内は室数

- 大ホール(1):360人(机使用の場合240人)
- 大会議室(1):126人 ●特別会議室(1):24人
- 中会議室(8):24～42人 ●小会議室(4):12～15人

#### 施設ご案内

- 大ホール 26,200円/日(平日・税込)
- 会議室 950円/半日～10,200円/日(税込)

#### 利用にあたって 事前申請

##### ●仮予約

「兵庫県公共施設予約システム(HYOGOカンタン予約)」からご予約ください。①事前に利用者登録が必要です。②仮予約は利用日の1年前の属する月の初日から可能です。

※キャンセル入力は速やかにお願いします。

##### ●利用の確定

「利用許可申請書」の提出をお願いします。

※期日までに提出しない場合は仮予約が取り消しとなりますのでご注意ください。

提出方法・・・e-mail(yoyaku@hyogo-jinken.or.jp)  
またはFAX(078-242-5360)

##### ●使用料の支払い

利用許可申請書を提出後に確定した金額を、事前振込もしくは当日現金で納付ください。

#### 無料貸し出し備品

- マイク(有線、ワイヤレス)・ホワイトボード
- プロジェクター・スクリーンなど

#### 無料でご利用いただける部屋もあります

##### ●ふれあいルーム(多目的室84人)

学習・交流等に自由に利用することができます。(専用使用の場合は有料。また、専用使用中の利用は不可。)



##### ●図書資料室

人権に関する図書、資料等を閲覧することができます。(雑誌を除き、貸出を行っています。)  
※人権関係のビデオが視聴できます。自習室としてもご利用いただけます。(全6席)



※詳細については、当協会ホームページでもご覧になれます。お問い合わせ、お申込みは、右下欄外までご連絡ください。



### 人権研修講師を派遣します!

(公財)兵庫県人権啓発協会では、住民学習会、企業研修会、PTA研修会など様々な人権研修会に、講師を派遣しています(兵庫県内に限る)。

#### 研修テーマ

子ども(いじめ、虐待、不登校など)、高齢者、障害のある人、インターネット、同和問題(部落差別)、男女共同参画、多文化共生、セクハラ・パワハラ、LGBT、メンタルヘルス、公正採用、企業の社会的責任、地域づくり、人権全般、住民学習会の進め方など

#### 費用

派遣に際しては、次に掲げる研修料と旅費が必要です。

##### ●研修料(1回当たり)

①受講者が50人以下の場合 15,000円(税込)

②受講者が51人以上の場合 25,000円(税込)

※賛助会員(法人・団体)様には1口につき10,000円の割引があります。

・オンライン研修も可能。ただし、「録画データによる研修」を希望される場合は、別途料金をいただきますので事前にご相談ください。

##### ●旅費

講演会、研修会場までの旅費(県の旅費規程に準じます)

#### 問い合わせ先 研修部

### (公財)兵庫県人権啓発協会では、賛助会員を募集しています



#### 入会すると

- ①「ひょうご人権ジャーナルきずな」(隔月発行)をお送りします。\*
- ②人権啓発行事やイベント、講演会等の開催についてご案内します。\*
- ③法人・団体会員には要請に応じ、研修会や講演会等の講師を派遣します。

(1口につき、研修料から10,000円免除)

詳しくは右の二次元コード

またはお電話でお問い合わせください。



#### 年会費 複数口加入できます。

- 個人会員 1口1,000円 ●法人・団体会員 1口10,000円

※個人会員は3口以上ご加入の方が対象です。

### 谷 五郎の笑って暮らそう



ラジオ関西「谷五郎の笑って暮らそう」は、毎週日曜日10:00～11:35に放送しています。11:25頃からの「ハートフル・フィーリング」のコーナーで「きずな」の記事の紹介や寄稿者へのインタビュー等を発信します。

兵庫県  
人権啓発協会HP

X

Instagram



ホームページ、SNSでも  
情報発信中。  
フォロー、リツイート等  
よろしくをお願いします。

兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会

〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内

TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360

✉ info@hyogo-jinken.or.jp

2026(令和8)年3・4月発行